

血液製剤(赤血球製剤)廃棄率

【指標の説明】

厚生労働省では適正な輸血療法の実施や血液製剤の使用適正化を推進しており、購入した血液製剤の有効利用や適正な管理が求められています。

血液製剤の有効期間は、種類によって異なるものの「製造後24時間」「採血後21日間」等と短期間であり保存方法だけでなく在庫管理の適正化も重要です。

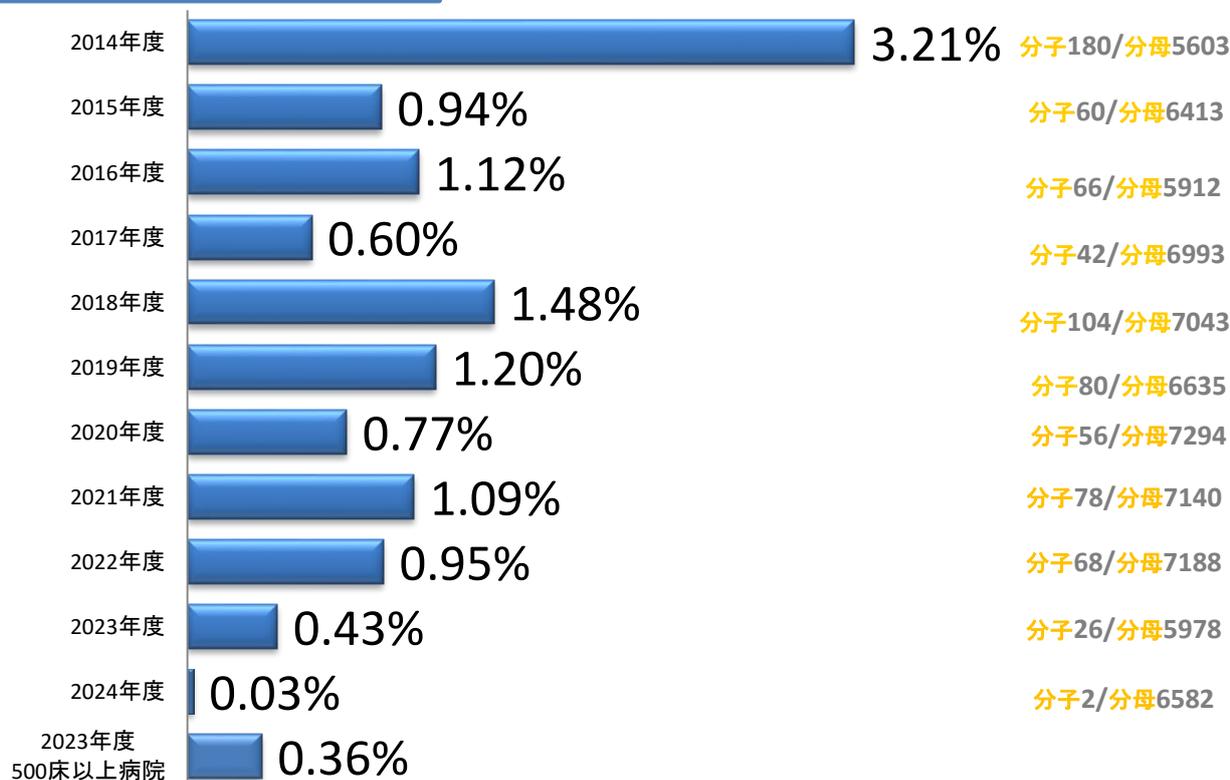
岐阜県合同輸血療法委員会では廃棄率1%未満を目標としており、当院も廃棄率の減少に向けて引き続き取り組んでいきます。

【定義】

分子 分母のうち廃棄単位数

分母 血液センターからの赤血球製剤購入単位数

岐阜県立多治見病院の推移



日本輸血・細胞治療学会「令和5年度血液製剤使用実態調査報告」より、
500床以上の病院のRBC廃棄率

【改善への取り組み・分析】

- ・輸血部療法委員会で検討を行い、過大なオーダーに気を付けるよう呼びかけを行っている。
- ・使用量が増えると、廃棄量が減少する傾向がある。
- ・当院は三次救急病院のため、ある程度在庫を確保しておく必要があるが、血液型を考慮し在庫量を減らして管理している。
- ・主な廃棄理由は使用期限切れ。
- ・AB型、B型は廃棄になりやすい。